

令和3年度 学校安全総合支援事業（概略）実施予定

領域	学校安全に係る連携	防災		交通安全
事業内容	学校安全に係る学校間の連携の推進・支援	学校防災アドバイザー派遣	災害ボランティア活動	スケアードストレイト教育技法を活用した交通安全教室
概要	先進的な安全教育実践校から中核教員を招聘、及び、中核教員を先進的な安全教育実践校へ派遣。 	学校防災アドバイザーを派遣し、防災に関する指導・助言を行う。 	実践校が企画・立案した被災地でのボランティア活動を支援。 	スタントマンによる交通事故状況の再現により、事故の悲惨さを実感し、安全確認等の励行や危険運転の自制を促す。 
対象	府立3校、3市町村、私立1校	府立10校、4市町村、私立1校	府立・私立学校の高校生 (府立4校、私立1校)	小学校5年生以上 (府立3校、1市町村、私立1校)
実施期間	令和3年7月～12月	令和3年7月～12月 のべ3回（2時間/回）	令和3年7月～12月	令和3年9月～12月
モデル校選定	●保健体育課及び私学課が選定。 ●各市町村は学校園を指定可。	●保健体育課及び私学課が選定。 ●各市町村は学校園を指定可。	保健体育課及び私学課が選定。	●保健体育課及び私学課が選定。 ●各市町村は学校園を指定可。
経費等	実践校・市町村の負担なし。	実践校・市町村の負担なし。	実践校・市町村の負担なし。	実践校・市町村の負担なし。
選定時期	令和3年7月頃決定予定			
その他条件等	●決定校には別途、詳細な計画書の提出を依頼する。 ●説明会を実施。 ●教職員2名・1泊以内。 ●経費(16万円未満/校)は保健体育課及び私学課が負担。	●指導助言内容 ・避難訓練 ・「学校安全計画や危険等発生時対処要領」の見直しなど ●当該市町村教育委員会はアドバイザー適任者を府教育庁に推薦することができる。	●決定校には別途、詳細な計画書の提出を依頼する。 ●災害ボランティア活動と現地高校生や被災者等との交流が必須。 ●事務手続きは説明会を実施。 ●生徒6名・引率1名・3泊以内。 ●経費(67万円未満/校)は保健体育課及び私学課が負担。	●地元警察署と連携して実施する。 ●近隣学校や地域と連携しての実施が必須。 ●グラウンド等でスタント用車・自転車の走行、雨天時に備えて体育館にて自転車の走行が可能であること。 ●夕刻に実施の場合は、事前に要相談。